

自治体の課題、現状

- ・ 本県における部活動は、他都道府県と比較して高い部活動加入率のもと、これまで地域の実情に合わせた形で行われ、中学生の文化活動の重要な機会となっている一方で、生徒数の減少や文化活動の多様化により、学校部活動だけでは中学生のニーズに応えることが難しくなっている。
- ・ 段階的な地域移行に向けて、地域の特色に応じた地域クラブ活動の仕組みを構築していくため、地域団体の責任の下で行われる活動の成果、課題を整理するとともに、地域団体が担っていくこととなる業務、活動経費、指導者の確保など、地域移行へ向けた体制の整備に取り組む必要がある。

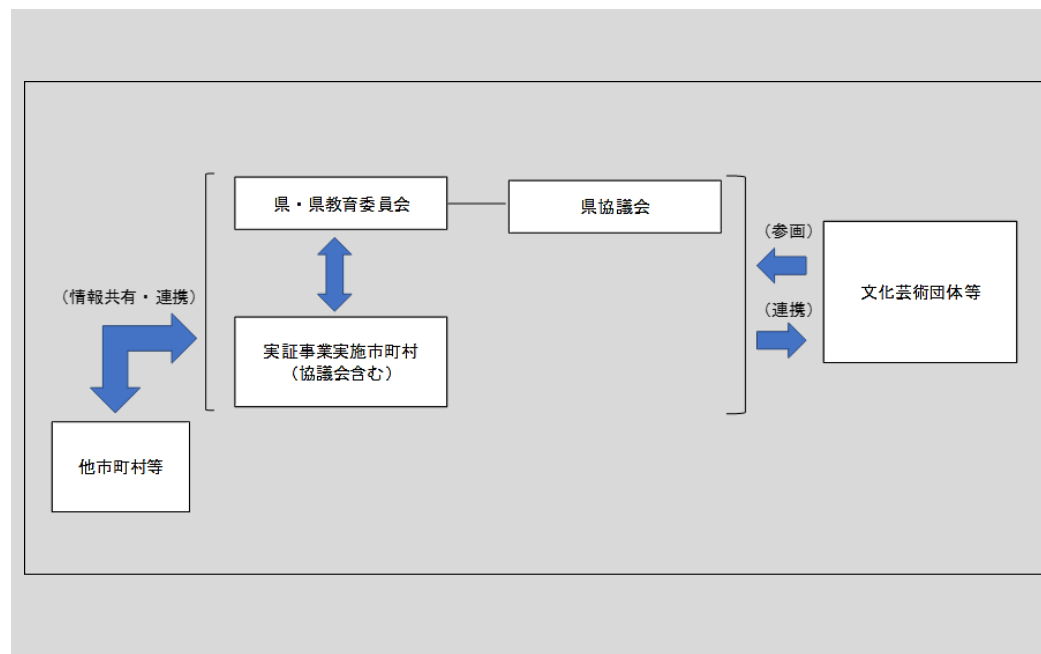
地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	144 校	全生徒数	27,763 人
域内の部活動数	235 部	実施した地域クラブ数	1 クラブ
全体の指導者数	4 人	全体の運営スタッフ数	5 人
主な運営団体	根反鹿踊り保存会		
主な種目	伝統（民族）芸能		
平均的な活動回数	4 回/月	年間平均参加生徒実数	3年：1 人/クラブ 2年：2 人/クラブ 1年：3 人/クラブ
参加会費	なし	主な活動場所	根反自治公民館

地域移行関連の取組、成果

- ・ 新たな文化芸術環境の整備等に向けた関係者間での情報共有、意見交換を目的とした県協議会を実施（令和 6 年 7 月、令和 7 年 2 月）
- ・ 部活動の地域移行等に向けて取り組んでいる方々など、関係者を対象とした事例発表会を実施（11月）
- ・ 県内外の実践等の共有及び岩手県の中学生にとって望ましい環境について、様々な立場から意見交換するワークショップを実施（11月）
- ・ 部活動の地域移行の円滑な推進に向けた助言や情報共有等を図ることを目的とした市町村相談会を実施（12月、県内 4 会場）

運営体制図



自治体の課題、現状

- ・町の人口減少に伴い、伝統（民族）芸能の担い手・踊り手も減少している。担い手は高齢化も進んでおり、これら人材の確保が喫緊の課題となっている。
- ・地域移行を進める上で、運営協議会関係者、指導者、保護者らとの課題意識の共有を図っていかねばならない。
- ・持続可能な地域クラブ運営とするための会費や保険料の将来的な負担、また、謝金等の財源の確保についての検討。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	2 校	全生徒数	229 人
部活動数	3 部活	実施した地域クラブ数	1 クラブ
全体の指導者数	4 人	全体の運営スタッフ数	5 人
主な運営団体	根反鹿踊り保存会		
主な種目	伝統（民族）芸能		
平均的な活動回数	4 回/月	年間平均参加生徒実数	3 年：1 人/クラブ 2 年：2 人/クラブ 1 年：3 人/クラブ
参加会費	なし	主な活動場所	根反自治公民館

地域移行関連の取組、成果

- ・運営協議会の設置及び開催、地域クラブ活動としての展開などについて協議
- ・活動団体に対し実証事業の説明を行い、取り組み参加の意向を確認
- ・指導者及び活動場所の確保
- ・町担当者・各種目指導者・施設管理者連絡体制を構築

運営体制図

